



# 取扱説明書



モデルシリーズ 120000

Intek 825/850/8750 シリーズ

Intek Edge 825/850 シリーズ

Intek Pro 825 シリーズ



## クイック スタート ガイド

6 ページ 参照

# 安全のために

## シンボルと警告:

 この安全アラーム・シンボルは、人身負傷事故を起こし得る危険についての安全情報を示すものです。シグナルの語(危険、警告、または注意)は、警報シンボルとともに使われ、重度の負傷が起こりえる可能性と確率を示します。付け加えて、危険シンボルは危険の種類を示すのにも使われます。

 **危険** は避けられなかった場合、死亡事故や重度の負傷事故が起こる危険を示します。

 **警告** は避けられなかった場合、死亡事故や重度の負傷事故が起こるかもしれない危険を示します。

 **注意** は避けられなかった場合、軽度や中度の負傷事故が起こる危険を示します。

**注意** (シンボルなしで使用) はエンジンへの損害をもたらす状況を示します。

-   ・エンジン始動前にこの取扱説明書をお読み戴き、安全情報について十分に理解してください。
- ・十分に理解されず間違った取扱いをした場合、ケガをすることがあります。搭載されている作業機の取扱説明書もお読み戴き、操作方法について十分に理解することが重要です。

## 目次

安全のために	2
各部の名称	3
クイックスタートガイド	6
トラブルシューティング	8
レディスタート	9
始動	10
エンジンの停止	11
オイル	11
燃料	13
メンテナンス	14
保管・サービス	17
仕様	18
保証規定	20

## 本取扱説明書に表示されている国際記号



火災



爆発



猛毒ガス注意



キックバック



注意



オイル



低速



燃料シャットオフ



燃料



回転部注意



電気ショック



高温注意



説明書参照



ON OFF



ストップ



高速



チョーク



科学的危険



## 警告

ブリッグス&ストラットンには競技を目的とした3輪ビークル(ATV)やバイク、娯楽用のゴーカートや飛行機等にこのエンジンを搭載することを禁止しています。外的破損や人体へのケガや重大な負傷、死亡となることがあるためです。



## 警告

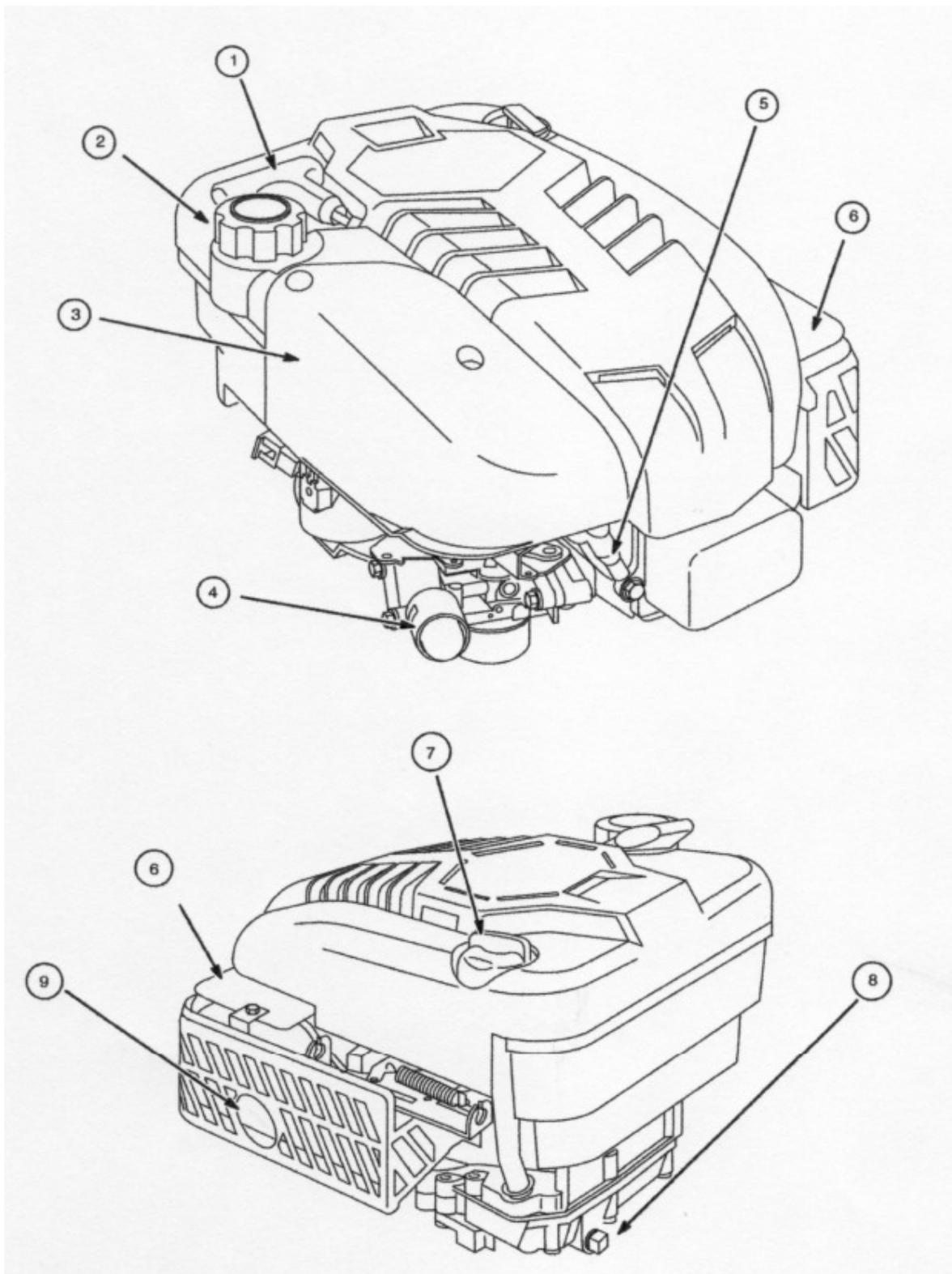
エンジンの排気ガスにはカルフォルニア州が定める発ガン性物質が含まれており、出生障害や他の障害を発生する恐れがあります。

## 注意

このエンジンは工場出荷時にはオイルは入っていません。オイル無しで運転した場合、エンジンは大きくダメージを受け、修理が必要となります。このような場合は保証対象とはなりません。

## 各部の名称

- |                  |                           |
|------------------|---------------------------|
| 1. スタータ ロープ ハンドル | 6. エンジン モデル・タイプ・コード番号打刻位置 |
| 2. 燃料タンク キャップ    | 7. オイル注入/ ディプスティック        |
| 3. エアクリーナ        | 8. サイドオイルドレン (オプション)      |
| 4. プライマ ボタン      | 9. マフラ及びスパークアレスタ (オプション)  |
| 5. スパーク プラグ ワイヤ  |                           |



## 安全な運転のために



### 警告

ガソリンとその蒸気はきわめて可燃性が高く、爆発性があります。  
火災または爆発により、ヤケドや死亡事故が起こる可能性があります。

#### 燃料補給時

- ・ エンジンを切り、燃料タンクキャップを外す前に少なくとも2分間冷却させてください。
- ・ 燃料タンクは屋外か喚起のよいところで補給してください。
- ・ 燃料タンクに規定以上入れないでください。
- ・ ガソリンをスパークや炎、パイロットランプ、熱やその他の着火源から離してください。
- ・ 燃料ホース、タンク、キャップ並びに関連部品にひび割れや漏れが無いが、頻繁に点検してください。必要であれば交換してください。

#### エンジン始動時に

- ・ スパークプラグ、マフラ、燃料タンクキャップやエアクリーナが所定の位置に収まっているか確認してください。
- ・ スパークプラグを外したままでクランクしないでください。
- ・ 燃料がこぼれた場合、完全に蒸発するまでエンジンを始動しないでください。
- ・ エンジンから燃料があふれる場合、チョークをOPEN/RUN(開/運転)位置とし、スロットルを「高速」位置としてエンジンが始動するまでクランクしてください。

#### 作業機を運転中

- ・ ガソリンがこぼれるような角度にエンジンや作業機を傾けないでください。
- ・ エンジン停止する際、チョークを閉じないでください。

#### 作業機を運搬する場合

- ・ 燃料タンクが空の状態かシャットオフバルブをOFF(閉)の状態に運搬してください。

#### ガソリンや作業機のタンクに燃料がある状態で保管するとき

- ・ ガソリンの蒸気が着火することがありますので、ヒーター、ストーブ、ボイラーまたはパイロットランプを使う電化製品や着火源となるものから離して保管してください。



### 警告

エンジンを始動するとスパークが発生します。スパークは近くの可燃性の気体を着火させます。火災や爆発が発生する恐れがあります。

- ・ 付近に天然ガスやLP ガスが洩れている場合、エンジンを始動させないでください。
- ・ 蒸気が可燃性であるため、圧力式の液体を使わないでください。



### 警告

スタータロープが早く巻き戻る(キックバック)と手や腕がエンジンに引き込まれることがあります。骨折や打ち身、捻挫などが起こる場合があります。

- ・ エンジンを始動するとき、スタータロープが抵抗を感じるまでゆっくりと引き、すばやく引いてください。
- ・ エンジンを始動する前に、全ての付属装置やエンジンの負荷を外してください。
- ・ ブレードやインペラ、プーリ、スプロケットなど直接連結される部品はしっかりと取り付けてください。



### 警告

回転中の部品は手や足、頭髪、衣服、アクセサリー等に触れると絡まることがあります。その結果からだにケガや重度の裂傷となることがあります。

- ・ 適当な場所にガードを置きながら作業機を操作してください。
- ・ 回転する部分に手足を近づけないでください。
- ・ 長い髪はまとめ、アクセサリーは外してください。
- ・ ゆったりとした衣服や垂れ下がった紐、その他巻き込まれやすい品は身につけないでください。



## 警告

エンジンは、無職・無臭な毒ガスである一酸化炭素を排出します。  
一酸化炭素を吸入すると吐き気や失神を起したり、死亡する場合があります。

- ・ エンジンの始動と運転は屋外で行ってください。
- ・ ドアや窓を開けてあった場合でも、密閉された場所でエンジンを始動したり運転しないでください。



## 警告

運転中のエンジンの各部は高温となります。特にマフラは高温です。  
高温部に触るとヤケドをすることがあります。  
枯葉、草、小枝等の燃えやすいごみは火災となることがあります。

- ・ マフラ、シリンダ、シリンダフィンが冷めてから触れてください。
- ・ 積み重ねた燃えやすいものからマフラやシリンダを離してください。
- ・ 森林、藪地、草地などの未開拓地でエンジンを仕様する場合には必ずマフラにスパークアレスタを取付けてください。カルフォルニア州では法律(Section 4442 of the California Public Resources Code)によって取付けが義務付けられています。また他の地域でも同様な規制があります。



## 警告

不意な点火によって火災が発生したり感電することがあります。  
不意な始動により巻き込まれたり、手足のケガ等が起き得ます。

### 調整、修理前に

- ・ スパークプラグコードを外し、スパークプラグから離してください。
- ・ バッテリーのマイナスターミナルを外してください。(セルモータ付の場合)
- ・ 正しい工具を使用してください。
- ・ フライホイールをハンマー等固いもので叩かないでください。運転中に亀裂が入り破損することがあります。

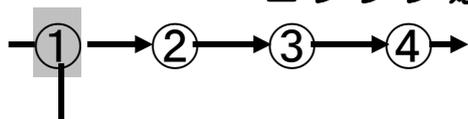
### スパークテスト時

- ・ 純正のスパークプラグテストを使用してください。
- ・ スパークプラグを外してスパークテストをしないでください。



エンジン始動前にこの取扱説明書をお読み戴き、安全情報について十分に理解してください。十分に理解されず間違った取扱いをした場合、ケガをすることがあります。

## エンジン始動までの簡単手順



### オイルを入れる

#### どんなオイル?

高品質の SAE 30 のオイルを入れます。

#### どの位?

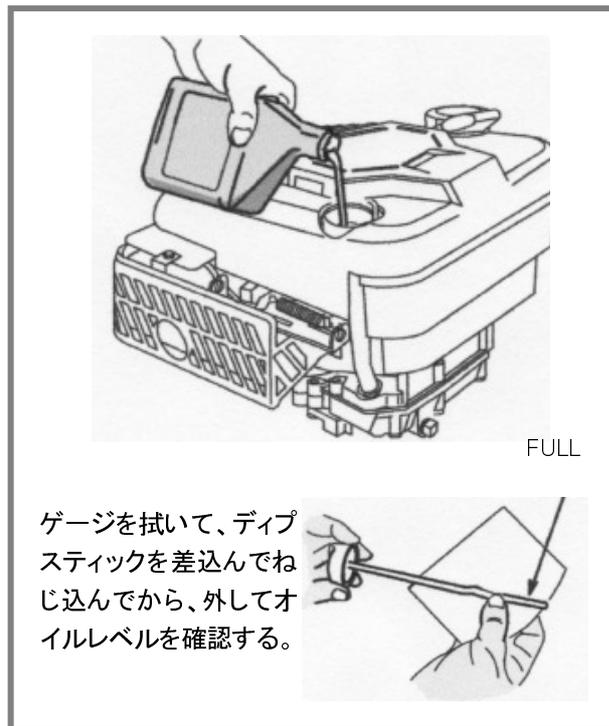
ディップスティックの FULL まで約 0.6 リットルです。

#### どのように?

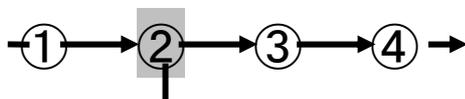
オイルキャップを緩め、オイルをゆっくりと入れます。キャップを元どおり取り付けます。

#### どんな注意をする?

入れすぎないこと。  
エンジンは逆さにしないこと。



11 ページ参照



### ガソリンの注入

#### どんな種類?

自動車用無鉛レギュラーで 85 オクタン以上。

#### どのくらい?

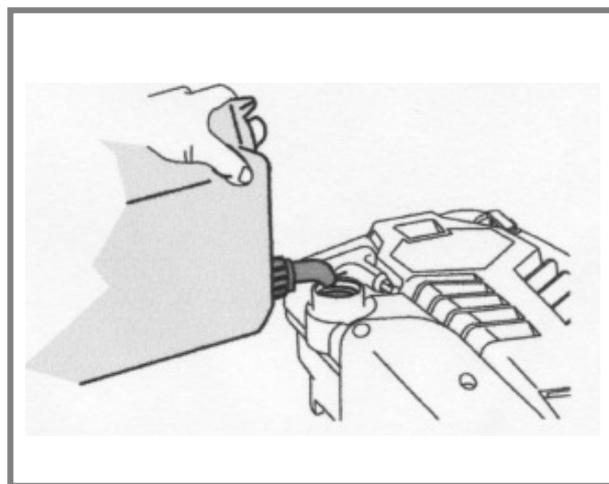
注入口より約 3mm ほど下まで注入してください。

#### どのように?

タンクキャップを外して、ゆっくりとガソリンを注入し、キャップを締めます。

#### どんな注意をする?

給油は屋外で行なってください。  
もしこぼした場合、十分に揮発したことを確認してからエンジンを始動してください。



### 警告



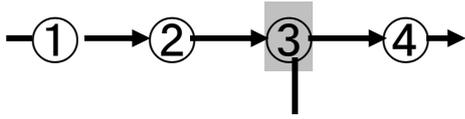
エンジン始動時にはスパークします。ガソリンとその蒸気は極めて可燃性が高く、爆発性があります。  
火災または爆発により、ヤケドや死亡事故が起こる可能性があります。  
もしこぼした場合、十分に揮発したことを確認してからエンジンを始動してください。



13 ページ参照



レディスタート(ReadyStart)の場合は 9 ページ



### プライマボタンを押す

#### 何回押すのか?

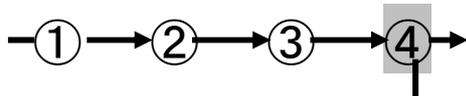
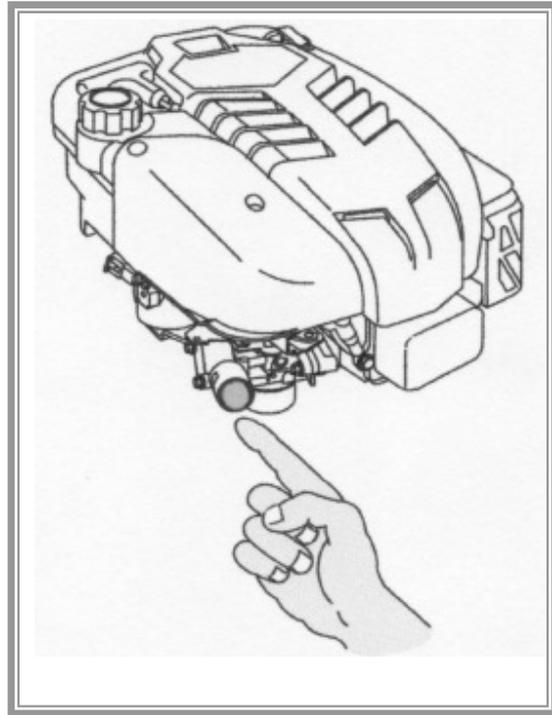
新品のエンジンを始めて使用するときは5回を、他のときは3回押します。

#### どのように?

指でプライマボタンを押します。一回押した後、2秒ほど間隔をあけてから押してください。

#### どんな注意をする?

押しすぎるとガソリンがこぼれることがあります。エンジン始動しないで、「トラブルシューティング」を参照してください。



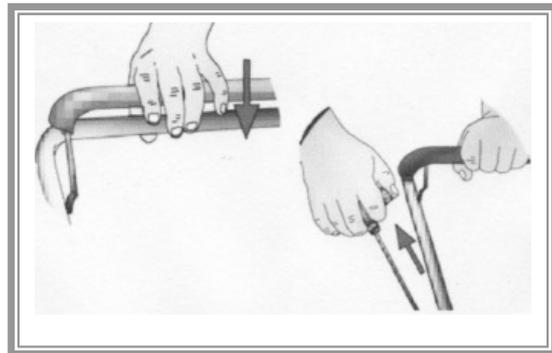
### スタータハンドルを引く

#### どのように?

芝刈機の後方に立ち、ハンドルパイプとコントロール・バーを一緒につかみます。スタータハンドルを軽く引き、重さを感じたところから、一気に引きます。

#### どんな注意をする?

もしエンジンにスピードコントロール装置してある場合は、高速としてください。



セルスタータ付の場合は 10 ページへ

## エンジン停止

コントロール・バーを離してください。エンジンブレーキがかかり、ブレードが止まります。



始動方法の説明は 10 ページへ



### 警告



スタータ・ロープが早く巻き戻る（キックバック）と、手や腕がエンジンに引き込まれることがあります。キックバックを防ぐために、スタータハンドルを軽く引き、重さを感じたところから、一気に引きます。

骨折や打ち身、捻挫などが起きる場合があります。

回転部には手や足、頭髮、衣服など身につけているものから離してください。からだを傷つけたり、重度の裂傷が起きる可能性があります。

## トラブルシューティング(故障対応)

### スタータハンドルが引けない

- ・コントロール・バーやクラッチを握る。
- ・芝刈機を平らな面におきます。
- ・エンジン始動前には全ての負荷となるものを外してください。例えばブレードやインペラなどを外します。
- ・ブレード、インペラ、プーリ、スプロケット等の直接接続されるものは安全に取り付けられていなければなりません。

### エンジンが始動しない

- **燃料が空**
  - ・ ガソリンの補給
- **燃料の吸い込み過ぎ**
  - ・ チョーク(オプション)を全開(OPEN/RUN)とし、スロットル(オプション)を高速としてスタータハンドルを引きます。
- **スパークプラグの汚れ**
  - ・ スパークプラグを外して、汚れていないか点検をし、ギャップが 0.75mm であることを確認してください。
  - ・ スパークプラグが焼損したり摩耗していたら新品と交換してください。

### 白煙を吐いたり、回転が不安定

- **芝刈機輸送時にエンジンを倒した**
  - ・ スパークプラグがオイルで濡れているか確認。
  - ・ エアクリーナにオイルが付着していない確認し、付着していれば清掃もしくは交換。

	<b>警告</b>
スタータロープが早く巻き戻る(キックバック)と手や腕がエンジンに引き込まれることがあります。骨折や打ち身、捻などが起こる場合があります。	
・ エンジンを始動するとき、スタータロープが抵抗を感じるまでゆっくりと引き、すばやく引いてください。	

<b>注意</b>	
エンジン出荷時にはオイルは入っていません。エンジン始動前にオイル無しで運転すると、エンジンに大きなダメージを与えることとなり、保証の対象外です。	

	<b>警告</b>
	ガソリンとその蒸気はきわめて可燃性が高く、爆発性があります。火災または爆発により、ヤケドや死亡事故が起こる可能性があります。
・ エンジン始動前にはエアクリーナとタンクキャップが正しく取り付けられていること。	
・ 燃料給油の際、エンジン停止後2分以上経過して冷却してください。	
・ 燃料ホース、タンクキャップなどに損傷が無いか確認。必要に応じて交換。	
・ スパークプラグを外してクランクしないでください。	

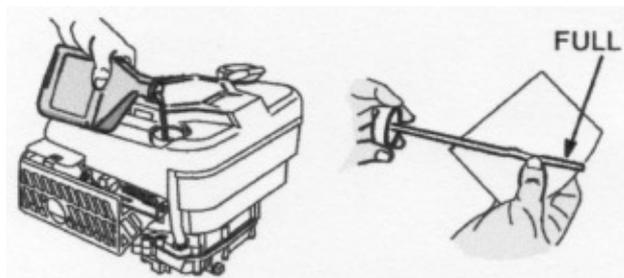
<b>注意</b>	
輸送時や無を得ず倒す場合は、ゴミを取り除き、オイルを抜いて、 <b>必ずスパークプラグを上</b> にしてください。	

スパークプラグを上とする

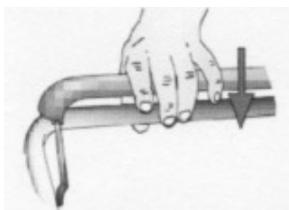


## RedyStart (レディスタート) 始動方法

1. ディップスティックを引き抜き「FULL」まであるか、オイルレベルを確認します。高品質なモーターオイルを使用してください。オイルは外気温度に合せて推奨リストから選定してください。



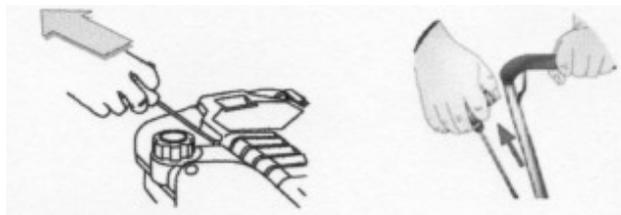
2. スロットルコントロールが取り付けられていれば、FAST(高速)とします。
3. 作業機のコントロールレバーを握ります。



4. エンジンを始動します。下記を参照してください。

## リワインドスタート

ロープハンドルを握り、ロープに抵抗を感じる程度まで引き、ハンドルを一気に引きます。ロープが強引き込まれる(キックバック)にならないように注意してください。



## セルモーター付

- ・キーを差し込み、「Start」(始動)に回します。
- ・エンジンの暖機運転をします。

### 注 意

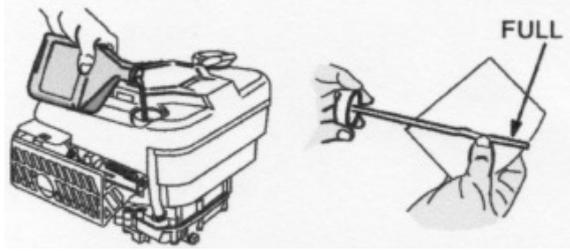
スタータモータを長く使用するために、セルモータは短い時間(最大5秒間で、1分以上間隔をあける)で操作してください。  
作業機の取扱説明書に基づき、バッテリーを十分に充電してください。

## エンジンの停止

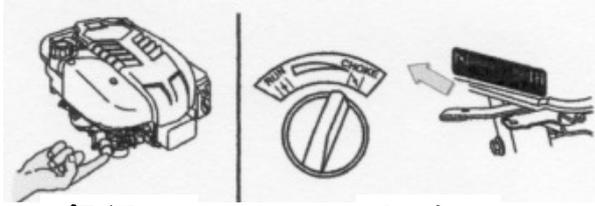
スロットルコントロール・レバーを離します。もしくはスロットル(オプション) 低速としOFFとします。

## 始動方法

1. ディップスティックを引き抜き「FULL」まであるか、オイルレベルを確認します。オイルは外気温度に合せて推奨リストから選定してください。



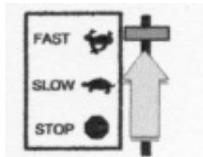
2. 燃料シャットオフバルブが取り付けられている場合は 1/4 回転回します。
3. プライマーバルブが装着されている場合は、3 回押してください。もしくはチョークノブを「チョーク」の位置まで引きます。



プライマー

チョーク

4. 作業機にスピードコントロールパネルがある場合は、FAST(高速)とします。



5. 作業機のコントロールレバーを握ります。



6. エンジンを始動します。下記を参照してください。

## リwindスタート

- ・ロープハンドルを握り、ロープに抵抗を感じる程度まで引き、ハンドルを一気に引きます。ロープが強くと引き込まれる(キックバック)とならないように注意してください。



## セルモーター付

- ・キーを差し込み、「Start」(始動)に回します。



### 注 意

長くスタータモーターを使用するために、最大でも 5 秒ほどの使用としてください。また再使用する前には 1 分以上間を空けてください。  
作業機メーカーの指示に基づきバッテリーを充電してください。

7. エンジンの暖機運転をします。

注:チョークを装備している場合: エンジン始動後、ゆっくりと戻してください。エンジンが安定することを確認してください。

## エンジンの停止



### 警告

チョークコントロールを「チョーク」としてエンジン停止させないでください。バックファイヤが発生しエンジンダメージを与えます。

1. スロットルコントロール・レバーが取り付けられている場合は、低速もしくは停止としてバーをします。もしくはスロットルを SLOW として STOP 位置とします。
2. ストップスイッチ(オプション)を押して OFF とします。もしくはキーを OFF に回します。子供が触らないようにキーを抜いておきます。
3. 燃料シャットオフバルブが取り付けられていれば閉めます。

## オイル

エンジン始動前にはオイルレベルを確認してください。  
オイルレベルは常に「FULL」の位置としてください。  
オイル点検は毎日行るか、運転8時間毎としてください。

### 容量

エンジンのオイル容量は約0.65 リットルです。**注** しばしば、残されたオイルがエンジンの中に残ります。

### 推奨オイル

良質で清浄性を有するオイルでサービス等級SF, SG, SH, SJ及びこれ以上の高品質な30Wを使用してください。  
市販の添加剤は使用しないでください。

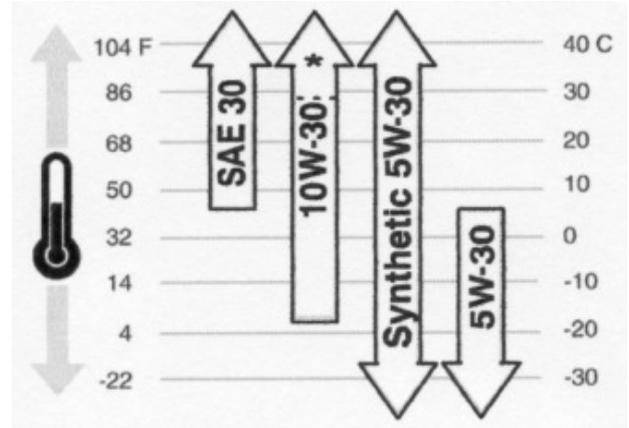
**SAE30** 外気温が5℃以上の場合には全ての用途に合うオイルです。5℃以下では始動不良となります。

**10W-30** 外気温-18℃から38℃の範囲で温度変化が激しい場合には良いオイルです。しかし27℃以上ではオイル消費が増大します。

★ 高温時はオイルレベルを頻繁に確認してください

**合成オイル(Synthetic) 5W-30** 外気温が-30℃から40℃の範囲で全ての外気温をカバーでき、オイル消費が少なくなります。

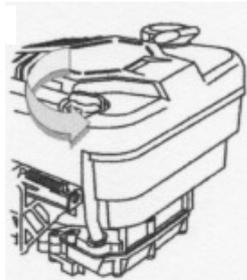
**5W-30** 外気温5℃以下の冬季用として推奨します。



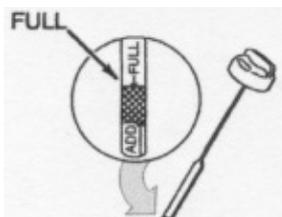
## オイルの点検

1. エンジンを水平としオイル注入口周辺をきれいにします。

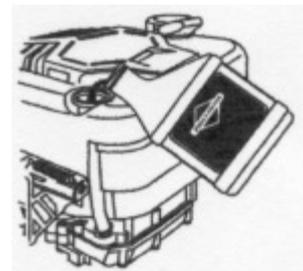
### オイル注入



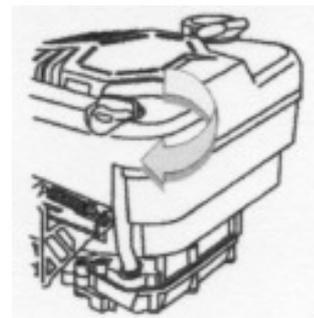
2. ディプスティックを外してきれいな布で拭き取ります。
3. ディプスティックを戻して、再度抜き取り、オイルレベルを確認します。
4. 必要に応じてオイルをゆっくりと入れ、レベルを確認します。



5. 必要に応じてオイルをゆっくりと追加補給します。



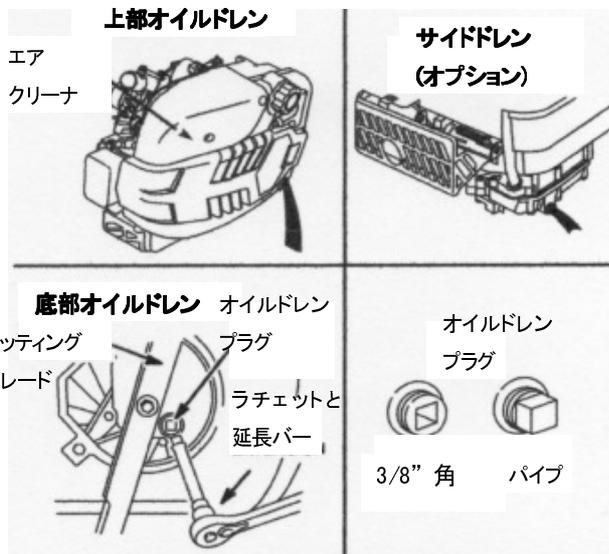
6. オイルレベルを再チェックします。オイルは入れ過ぎないこと。
7. ディプスティックを元通りねじ込みます。



## オイル交換

オイルは最初の運転5時間と運転8時間毎に交換します。次に50時間もしくはシーズン毎に行います。負荷が重い場合や、高温下での運転の場合、運転25時間毎に交換してください。

1. 燃料が無くなってエンジンが停止するまで、運転します。もしくは火災や爆発事故を防ぎながら、燃料を抜き取ります。この場合4項目に進みます。
2. スパークプラグワイヤを外して、スパークプラグから離します。
3. エンジンが温まっている間にディプスティックを外してエンジンを傾けます。
4. オイルのドレンは上部ドレンの場合には必ずエアクリーナ側を上としてください。底部もしくは、サイドドレン(取り付けられている場合)の場合はエンジンを水平としてオイルを抜きます。



上部オイルドレンはお勧めの方法です。しかし図のように底部からのドレンもしくはサイド(オプション)からのドレンも出来ます

5. ドレンプラグをしっかりと締め付け、エンジンを水平として、新しいオイルを0.65リットル注入します。ディップスティックのFULLまでとし、入れすぎないこと。



6. ディプスティックを元に戻します。

### 注意

使用した古いオイルは危険な廃棄物です。正しく使い古したオイルを処分してください。家庭用ゴミとして放棄しないでください。安全な処分/リサイクル施設のために、あなたの地方自治体、サービスセンターまたはディーラーに確かめてください。



### 警告

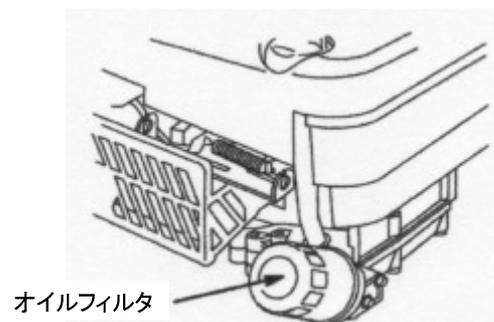


不意な始動を防ぐためにスパークプラグコードを外し、スパークプラグから離してください。

不意な始動は巻き込みや外傷となる切断または裂傷となります。

### オイルフィルタの交換 (オプション)

オイルフィルタは運転100時間毎に交換してください。



1. オイルを排出後、新しいオイルを注入します。
2. 新しいオイルフィルタを取り付ける前に、オイルガasketにきれいなオイルを塗布します。
3. フィルタを手で軽くアダプタに当たるまで締めます。
4. さらに1/2~3/4回転締めます。
5. エンジンを始動してアイドル運転してオイル洩れが無いかわかります。
6. エンジンを停止しオイルレベルを再度確認してください。必要に応じてオイルを追加してください。

## 燃料

### 使用燃料の種類

このエンジンはガソリンで運転します。  
エミッションコントロールシステムは EM(Engine Modifications) です。

常に以下のガソリンを使用してください。

- ・ 清浄で、新鮮なレギュラー無鉛ガソリン
- ・ 85 オクタン以上/87 AKI(91 RON) 高高度で運転する際には下記のガソリン
- ・ ガソリンに 10%のエタノール(ガスホール)もしくは 15% MTBE(メチル 第三ブチルエーテル)を薦めます。
- ・ 上記で承認されるそれら以外のどんなガソリンの使用でも、エンジン保証対象とはなりません。ガソリンがアルコール類またはエーテルを含むならば、若干のローカル地域では、燃料ポンプはマークされるかもしれませんが、ガソリンの成分が確認できないならば、燃料購入先で確認してください。
- ・ キャブレタを改造等して代替燃料を使うような改造はしないでください。
- ・ ガソリンにオイルを混ぜないでください。

ガソリンはすべて同じではありません。新しいガソリンを使用してエンジンの始動性や性能に問題があれば、ガソリンの供給先もしくはブランドを変えてください。

### 注 意

酸素処理されたガソリン、あるいは改善ガソリンにはアルコールやエタノールが混ぜられています。これらの混合物の割合が高すぎる場合、燃料システムがダメージを受けたり、性能に問題が出たりする事があります。もしも望ましくない症状が出た場合、アルコールやエタノールを含有する比率の低いガソリンを使用してください。

### 燃料の注入

1. 燃料タンクキャップを外します。タンクに注入する際、燃料の膨張に備えてタンクの口元から約 3cm ほど下までとしてください。溢れさせないでください。
2. エンジン始動前にキャップを取り付けてください。

燃料キャップ



### 保 管

エンジンを 30 日以上保管する場合は次の手順で行います。

キャブレタ内部や燃料システムにガム質が形成することを防止するためにガソリンにガソリン劣化防止剤(ガソリンアディティブ)を混ぜ、キャブレタ内部に循環させるために、数分間エンジンを運転してください。この場合エンジンと燃料は、最高 24 ヶ月間格納できます。

ガソリン劣化防止剤が無い場合は、ガソリンを完全に抜き取ってください。

	<h3>警 告</h3> <p>ガソリンとその蒸気はきわめて可燃性が高く、爆発性があります。 火災または爆発により、ヤケドや死亡事故が起こる可能性があります。</p>
<h3>燃料補給時</h3> <ul style="list-style-type: none"><li>・ エンジンを切り、燃料タンクキャップを外す前に少なくとも 2 分間冷却させてください。</li><li>・ 燃料タンクは屋外か喚起のよいところで補給してください。</li><li>・ 燃料タンクに規定以上入れないでください。</li><li>・ ガソリンをスパークや炎、パイロットランプ、熱やその他の着火源から離してください。</li><li>・ 燃料ホース、タンク、キャップ並びに関連部品にひび割れや漏れが無いか、頻繁に点検してください。必要であれば交換してください。</li></ul>	

## エンジンのメンテナンス

定期的なメンテナンスを行うことで、性能が改善し、エンジンの寿命が延びます。「ブリッグス&ストラットン認定サービス・ディーラ」を参照してください。部品は、ブリッグス&ストラットンの純正部品以外を使用しないでください。非純正部品を使用すると、性能が低下したり、エンジンが損傷を受けたり、ケガのもととなったりする可能性があります。また非純正部品を使用すると保証の対象外となります。

## エミッション・コントロール

エミッション・コントロール装置およびシステムのメンテナンス、交換または修理は、非自動車用エンジンの修理業者または個人が行うことができます。しかし、ブリッグス&ストラットンの保証書に記載された諸条項のもとで無料の修理を受けるには、任意のサービス、エミッション・コントロール部品の修理や交換は、工場認定のディーラが実施しなければなりません。詳細については、「エミッション情報」のセクションを参照してください。

以下の手順とスケジュールに従ってください。

### 作業

作業は、毎時またはシーズンのスケジュール(いずれか早いほう)に従って行ってください。

#### オイルレベルのチェック



8時間ごとまたは毎日

25時間またはシーズン毎

50時間またはシーズン毎

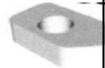
100時間またはシーズン毎

100-300時間

#### オイルの交換\*



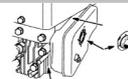
#### エア・クリーナのフォーム・エレメントのサービス\*\*



#### スパーク・プラグの交換



#### スパーク・アレスタの検査(装着している場合)



#### 空気冷却システムの洗浄\*\*



#### 燃焼室の清掃



\* 最初の5時間~8時間運転後、オイルを交換します。その後、50時間ごとまたはシーズン毎に交換します。高負荷の状態や高温の条件下でエンジンを運転した場合は、25時間ごとにオイルを交換してください。

\*\* 埃っぽい環境または浮遊塵があるときは、清掃回数を増やしてください。非常に汚れている場合は、エア・クリーナ部品を交換してください。

\*\*\* スtring・トリマ搭載機 - 燃料補給のたびに必要に応じて早めに小片や破片を取り除いてください。(「ゴミの除去」のセクションを参照)。エアクーリング・システムは、30時間毎、シーズン毎に、あるいは特に小片や破片が多い条件下では必要に応じて早めに、しかるべきメカニックに清掃してもらってください(「エアクーリング・システム」のセクションを参照)。

## 警告



不意にスパークを出してしまうと、火災や感電が起こる恐れがあります。火災や爆発によって重大な火傷や死に至る恐れがあります。不意に始動すると、引き込まれてしまったり、体が切断されてしまったり、裂傷を負ったりする恐れがあります。

### メンテナンスを行う前に

- ・ スパーク・プラグワイヤを外してスパーク・プラグから離しておいてください。
- ・ バッテリからマイナス(-)端子を外してください(セルスタータ式エンジンの場合)
- ・ フライホイールは、ハンマや硬いものでたたかないでください。運転中に破損する可能性があります。
- ・ ガバナ・スプリング、リンク、その他の部品に手を加えエンジン速度を増加させてはなりません。
- ・ 適正な工具を使用してください。

### スパーク・テスト中に

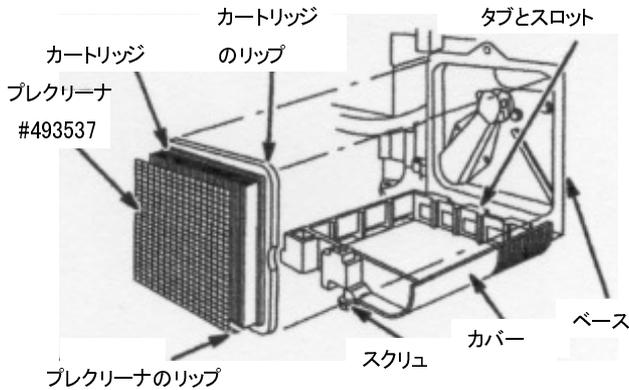
- ・ 承認を受けたスパーク・プラグ・テストを使用してください。
- ・ スパーク・プラグが外れた状態でスパークをチェックしないでください。

## エア・クリーナ

全てのエンジンにエアクリーナカートリッジがついています。カートリッジは長方形か楕円形をしています(図を参照してください) また、一部のエンジンは、プレクリーナがついています。

### 長方形のフラットエア・クリーナの脱着

カートリッジのリップをベース内側となるよう取り付ける



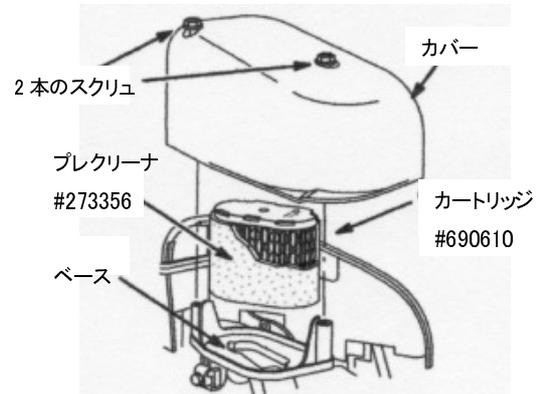
1. スクリューを緩めて、カバーを下ろして、エア・フィルタを取り外してください。
2. 清掃もしくは新しいエアクリーナアセンブリをカバーの内側に取り付けてください。プレクリーナが装着されている場合は、カートリッジのヒタ部の底にプレクリーナのリップに新しいフィルタを取り付けてください。
3. ベースの底にあるスロットにカバーのタブを挿入してください。
4. カバーを上げてスクリューをしっかり留めてください。

**注意**

カートリッジの清掃に圧縮空気や溶剤を使用したりしないでください。圧縮空気はカートリッジを破損させる恐れがあり、溶剤は、カートリッジを溶かす可能性があります。

### 楕円形のエア・クリーナの脱着

カートリッジのリップをベース内側となるよう取り付ける



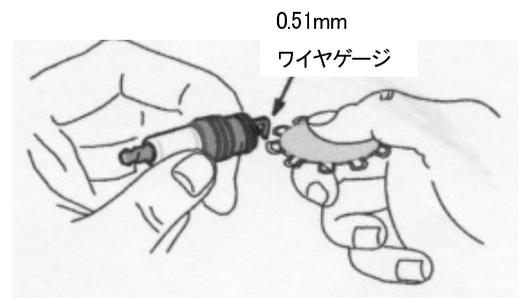
5. スクリューを緩めて、カバーを上を持ち上げるようにして取り外してください。
6. エア・クリーナ・カートリッジとプレクリーナ(装着されている場合)を慎重にベースから取り外してください。
7. 新しいプレクリーナをカートリッジ上に置き、新しいカートリッジ・アセンブリをベースにしっかり取り付けてください。
8. エア・クリーナ上にカバーを置きます。
9. スクリューを締めてください。

	<b>警告</b>
	エンジンの始動前にエアクリーナ、リターナ及びカバーは正しく取り付けられているかを確認してください。

## スパーク・プラグ

スパーク・プラグは、100時間ごとにチェックします。検査時に電極が焼けているまたは磨耗している場合は、スパーク・プラグを交換します。スパークプラグがきれいであることを確認します。フィーラ・ゲージを使用してギャップをチェックし、必要に応じて0.51ミリ(0.20インチ)にリセットします。ブリッグス&ストラトン製スパーク・テスト(部品番号 19368)を使用して、火花の有無をチェックしてください。

**注意:** 地域によっては、地域の法律により、点火信号を抑えるために抵抗入りスパーク・プラグの使用が義務付けられています。このエンジンに当初より抵抗入りスパーク・プラグが付いている場合は、交換の際に同じタイプのものを使用してください。

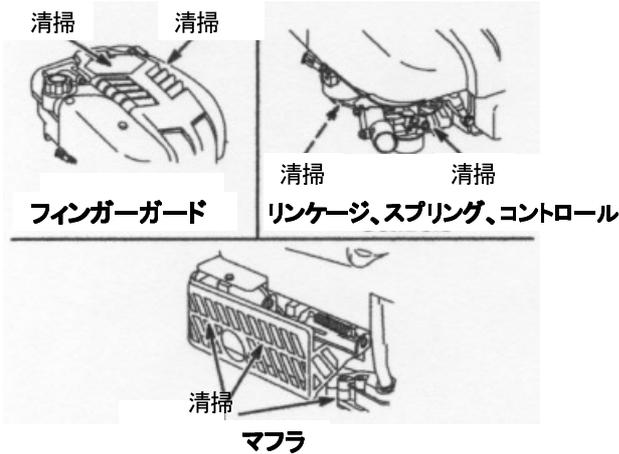


## 小片や破片の清掃

毎日あるいは使用の前に毎回、草、または蓄積した小片や破片をエンジンから取り除いてください。リンケージ、スプリングおよびコントロールはキレイな状態に保ってください。マフラの周囲や後ろに可燃性の小片や破片がないようにしてください。エンジンをキレイな状態に保つことでエンジンの周囲に空気の流れができます。

### 注意

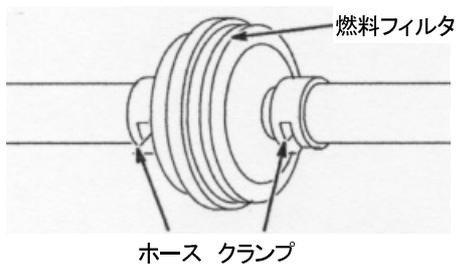
高圧洗浄機でエンジンを洗淨しないでください。水が燃料システムに入ることがあります。ブラシか乾いた布を使用してください。



## 燃料システム

### インライン燃料フィルタ(オプション)の交換

スパークプラグを外して離してください。  
燃料フィルタを交換する前には、燃料タンクを空にするか、燃料シャットオフ・バルブを閉じてください。  
燃料が漏れ出し、火災/爆発の危険性があります。



**警告**

燃料システムの交換部品（キャップ、ホース、タンク、フィルタ等）は、元の部品と同じでなければなりません。火災の危険性があります。

## マフラ

マフラにスパークアレスタが取り付けられている場合は、スクリーンを点検してください。もしスクリーンが破損している場合は交換してください。



**警告**

マフラの交換部品は、元の部品と同じでかつ同じ場所に取り付けなければなりません。火災の危険性があります。

## エアクーリング・システム

時間とともに、小片や破片がシリンダの冷却フィンに蓄積する可能性があります。このような片や破片は、エンジンを部分的に分解しない限り見つけることができません。このため、推奨する間隔(メンテナンススケジュール参照)で、ブリッグス&ストラットン認定サービス・ディーラーに空気冷却システムを清掃してもらうことがお勧めです。同じように重要なのが、エンジンの上部に小片や破片がないことです。清掃のセクションを参照してください。



**警告**

エンジンの部品はごみの堆積やオーバーヒートを防ぐために常にきれいに刷るように努めてください

## 保 管

作業機を30日以上保管する場合には、燃料が劣化します。劣化した燃料は燃料システムや重要なキャブレタ部分に粘性物質が形成します。これを防ぐためにタンク内の燃料にガソリン添加剤を添加してください。エンジンを数分ほど運転し、ガソリン添加剤がキャブレタに循環するようにしてください。これによって、エンジンおよび燃料は最大24ヶ月間保管できます。

**燃料劣化防止剤を使用しない場合、保管時にはガソリンを抜いてください。**

長期保管の前には次の作業を行ってください。

1. エンジンがまだ温かい間にオイルを交換します。
2. スパーク・プラグを外し、約15ミリリットルのエンジン・オイルをシリンダに入れてください。スパーク・プラグを元に戻します。
3. ゆっくりクランクを回し、オイルを全体にゆきわたらせてください。
4. ガソリン劣化防止剤を添加するか、ガソリンを全てエンジンから抜いてください。
5. エンジンから表面の小片や破片、または草を取り除いてください。
6. 乾燥したキレイなエリアに保管してください。



### 警 告

ストーブ、炉、湯沸器のほか、パイロット・ライトを使用する器具や、火花が発生する可能性のある装置が設置されている場所には設置しないでください。

## サービス

「ブリッグス&ストラットン認定サービス・ディーラー」を参照してください。

各ブリッグス&ストラットン認定サービス・ディーラーは、ブリッグス&ストラットンの純正部品を取り揃え、特別なサービス・ツールを用意しています。訓練を受けた技術者が、すべてのブリッグス&ストラットン製エンジンに熟練した修理サービスを提供します。ブリッグス&ストラットン基準を満たすことができるのは、「ブリッグス&ストラットン認定サービス・ディーラー」と称する販売代理店だけです。ブリッグス&ストラットン製エンジンを搭載した作業機を購入したお客様には、6000人を超す「マスター・サービス・テクニシャン」をはじめとして、世界中で30000を超えるブリッグス&ストラットン認定サービス・ディーラーにて、高い技術力を誇る信頼あるサービスが保証されます。ブリッグス&ストラットン・サービスが提供される次の看板をお探しください。



最寄りのブリッグス&ストラットン認定サービス・ディーラーを見つけるには、弊社のホームページをご覧ください。

[www.briggs.co.jp](http://www.briggs.co.jp)

## ブリッグス&ストラットンの純正部品の一覧

部 品 名	部品番号
長方形エア・クリーナ・カートリッジ	491588S または 5043
長方形エア・クリーナ・プレクリーナ	493537
楕円形エア・クリーナ・カートリッジ	697029
楕円形エア・プレクリーナ	273356
オイル	100005JP または 100028JP
燃料フィルタ	298090 または 5018
ガソリン添加剤	100002JP または 100031JP
抵抗入りスパーク・プラグ	491055
スパーク・プラグ・レンチ	89838
スパーク・テスタ	19368
オイル・ポンプ・キット	5056

(標準的な電動ドリルでエンジンからすばやくオイルを抜く)

上記に記載するように、ショップ・マニュアルには、単気筒、サイドバルブ、4サイクルのブリッグス&ストラットン製エンジンの共通仕様と、調節、チューンナップ、修理に関する詳細の情報が記載されています。このマニュアルは、ブリッグス&ストラットン認定サービス・ディーラーから購入できますが、以下のサイトからも注文できます。

[www.briggsandstratton.com](http://www.briggsandstratton.com)

## 仕 様

### 注 意

このエンジンの構成部品の全てが、このエンジンの適当な稼働のために適当なままでなければなりません。

エンジンとエンジン部品のすべてのメンテナンスとサービスのために認証ブリッグス&ストラットン サービスディーラーを利用することをお勧めします。ブリッグス&ストラットン純正部品のみを使ってください。

### 一般的な情報

このエンジンは、単気筒、サイドバルブ、空冷エンジンであると同時に、低エミッション(低排気ガス)エンジンでもあります。

カリフォルニア州では、本書に記載するモデル 120000 エンジンが 125 時間のエミッション基準に適合していることが CARB (カリフォルニア大気資源委員会)によって認定されています。しかし、このような認定によって、このエンジンの購入者、オーナー、オペレータに対し、このエンジンの性能や寿命に関して追加的な保証がなされるものではありません。このエンジンは、本書の別の箇所に定める製品とエミッション規定に関してのみ保証が行われます。

### モデル・タイプ・コード番号

今後、交換部品や技術的なお問い合わせの際に、あなたのエンジンの Model(モデル)、Type(タイプ)、Code(コード)番号をご記入ください。またご購入日も併せてご記入ください。これらの番号は、エンジンに打刻されています。打刻場所については、「各部の名称」を参照してください。

#### Model(モデル)

--	--	--	--	--	--	--

#### Type(タイプ)

--	--	--	--	--	--	--

#### Code(コード)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

#### 年/月/日

--	--	--	--	--	--	--

## テクニカル・インフォメーション

### エンジンの出力定格情報

個々のガソリン・エンジン・モデルの総出力定格は、SAE(自動車技術者協会)のコード J1940(小型エンジン出力とトルクのレーティング手続き)に従ってラベル上に表示され、SAE J1995(改訂 2002-05)に従って定格性能が取得および訂正されました。

実際のエンジン総出力は、これより低く、特に、周囲動作条件および個々のエンジンの違いの影響を受けます。エンジンが搭載される製

### モデル 120000

ボア	68.26mm (2-11/16 インチ)
ストローク	51.99mm (2-3/64 インチ)
排気量	189.6cc (11.57 立方インチ)

### チューンナップ仕様

アマチュア・エア・ギャップ	0.15~0.36mm
スパーク・プラグ・ギャップ	0.51mm
バルブ・クリアランスは、バルブ・スプリングを取り付け、ピストンが上死点を過ぎて 6 ミリ下がった位置で計測してください(確認は冷間時)。リペアマニュアル# 270962 を参照してください。	
インテーク	0.10~0.20mm
エキゾースト	0.10~0.20mm

**注:**実運転での馬力荷重は定格馬力の 85%を超過してはなりません。エンジン出力は、海拔が 300 メートル高くなるごとに 3-1/2%減少します。また、気温が 25°Cより 5.6°C高くなるごとに 1%減少します。エンジンは最高 15° までの傾斜角度で正常に運転します。

品が多種多様であることや、エンジンの運転に関するさまざまな環境の問題を考慮すると、ガソリン・エンジンは、動力装置の一部として使用されると、総定格出力には達しません。この差は、付属品(エア・クリーナ、排気装置、充電、冷却、キャブレタ、燃料ポンプなど)、使用制限、周囲動作環境(温度、湿度、緯度)、個々のエンジンの違いなど、さまざまな要因によるものです。製造上および能力上の制約により、ブリッグス&ストラットンは、このシリーズのエンジンの代わりにより高い定格出力のエンジンを使用することがあります。

## エミッション情報

CARB(カルフォルニア大気資源委員会)の第2排ガス基準への適合が認定されたエンジンは、エミッション永続期間とエア・インデックスについて情報を表示しなければなりません。ブリッグス&ストラットンはこの情報をエミッション・ラベル上に表示し消費者にお知らせします。エンジンのエミッション・ラベルは、認定情報を示します。

エミッション永続期間は、取扱説明書に基づいて適切なメンテナンスを行った場合に、エンジンからのエミッションが適合していると認定される実稼働時間数を表します。以下のカテゴリが使用されます。

**Moderate:** エミッションが125時間の実エンジン稼働時間に適合していると認定されたエンジン

**Intermediate:** エミッションが250時間の実エンジン稼働時間に適合していると認定されたエンジン

**Extended:** エミッションが500時間の実エンジン稼働時間に適合していると認定されたエンジン。例えば、典型的な自走芝刈り機は、1年あたり20時間から25時間程度の稼働時間です。従って「Intermediate」の評価をもつエンジンのエミッション永続期間は、10年から12年となります。

一部のブリッグス&ストラットン製エンジンは、USEPA(合衆国環境保護庁)の第2排ガス規制基準への適合が認定されています。第2排ガス規制基準に適合したエンジンの場合、エミッション適合ラベルに記載されるエミッション永続期間は、エンジンが連邦の排出要件を満たしているとされる操作時間数を示します。

一部のブリッグス&ストラットン製エンジンは、USEPA(合衆国環境保護庁)の第2排ガス規制基準への適合が認定されています。第2排ガス規制基準に適合したエンジンの場合、エミッション適合ラベルに記載されるエミッション永続期間は、エンジンが連邦の排出要件を満たしているとされる操作時間数を示します。

エンジン排気量 225cc 未満の場合

カテゴリ C=125 時間

カテゴリ B=250 時間

カテゴリ A=500 時間

エンジン排気量 225cc 以上の場合

カテゴリ C=250 時間

カテゴリ B=500 時間

カテゴリ A=1000 時間

# ブリッグス & ストラットン エンジン 保証規定

2006年 9月 1日 発行

## 保証規定

ブリッグス&ストラットン社は品質もしくは製造技術上あるいは双方の欠陥と認めた場合、エンジンのどのような部品でも無償で交換します。この保証に関して交換のために要する部品の運送費はご購入者の負担となります。いわゆるこれは完全な修理となります。この保証サービスを受けるには最寄りのブリッグス&ストラットン社認定サービスセンタにご連絡願います

この保証規定以外には明示された保証はありません。取引の都合上、および特殊な目的に適合する為の暗黙の保証はご購入から1年に限られており、加えて法律がその例外を許す限り、かつ全ての暗黙の保証も除外されます。国や政府によっては、暗黙の保証期間がいかに長くとも制限することを許可しないことがあり、またある政府によっては付随したり、また結果として生ずる損害の除外や制限を認めない場合もあります。したがって上記の制限及び除外はお客様には適用しない場合もあります。この保証はお客様に特殊の権利をお持ちいただくものであり、お客様はまた政府によって異なる別の権利をお持ちになっておられるかもしれません。

## 保証期間\*\*

ブランド/プロダクト・タイプ	家庭用	業務用
「バンガード」(Vanguard™)エンジン	2年間	2年間
Extended Life Series™エンジン	2年間	1年間
I/C®, Intek I/C®, Intek Pro™エンジン	2年間	180日
ケロシン燃料駆動エンジン	1年間	90日
全て他の Briggs & Stratton エンジン	1年間	90日

\*\* ホームスタンプ用発電機は全て家庭用となります。

エンジンが競技用レース、業務用もしくはレンタル用トラックに搭載されている場合は保証の対象外とします。

この保証規定による「家庭用」とは最初のご購入者が個人の住宅用に仕様することを意味します。「業務用」とは営業用、収入源としての使用または貸出用を含む「家庭用」以外の全ての用途に使用することを意味します。この規定では一度でも「業務用」に使用されたことがあれば、それ以降は「業務用」とみなします。

保証登録カードはブリッグス&ストラットンエンジンの保証サービスには必要ありません。保証を得るための購入日の根拠としてご購入日の納品書もしくは受領書を保管しておいてください。

Briggs & Stratton Engines Are Made Under One Or More Of The Following Patents: Design D-247,177 (Other Patents Pending)

6,091,693	6,520,141	6,325,036	6,145,487	6,012,420	5,803,035	5,548,955	5,243,878	5,138,996	4,875,448	D 476,629
6,647,942	6,495,267	6,311,063	6,142,257	5,992,267	5,765,713	5,546,901	5,235,943	5,086,890	4,819,593	D 457,891
6,622,683	6,494,175	6,284,123	6,135,426	5,904,124	5,732,555	5,445,014	5,234,038	5,070,829	4,720,638	D 368,167
6,615,787	6,472,790	6,263,852	6,116,212	5,894,715	5,645,025	5,503,125	5,228,487	5,068,544	4,719,682	D 375,963
6,617,725	6,460,502	6,260,529	6,105,548	5,887,678	5,642,701	5,501,203	5,197,426	5,040,644	4,633,556	D 369,457
6,603,227	6,456,515	6,242,828	6,347,614	5,852,951	5,626,352	5,497,679	5,197,425	5,009,208	4,630,498	D 372,871
6,595,897	6,382,166	6,239,709	6,082,323	5,843,345	5,619,845	5,320,795	5,197,422	4,996,956	4,522,080	D 361,771
6,595,176	6,369,532	6,237,555	6,077,063	5,823,153	5,606,948	5,301,643	5,191,864	4,977,879	4,520,288	D 356,951
6,584,964	6,356,003	6,230,678	6,064,027	5,819,513	5,606,851	5,271,363	5,188,069	4,977,877	4,512,499	D 369,457
6,557,833	6,349,688	6,213,063	6,040,767	5,813,384	5,605,130	5,269,713	5,186,142	4,971,219	4,453,507	D 368,872
6,542,074	6,347,614	6,202,616	6,014,808	5,809,958	5,497,679	5,265,700	5,150,674	4,895,119	4,430,984	D 368,871

## エンジン保証について

ブリグス&ストラットン社は保証修理を歓迎し、ご迷惑をおかけすることをお詫び申し上げます。いかなる公認サービスディーラーでも保証修理を受けることができます。ほとんどの修理が定期的に行われますが、保証サービスのために時々に行われることは適切ではないかもしれません。例えば、間違った取扱いや日常のメンテナンス不足、搬送時、または不適切な搭載のために損傷したエンジンには保証の対象とはなりません。同様に、もしエンジンのシリアル番号が削除されたり、エンジンが改造または修正した場合、保証の対象とはなりません。

もしお客様がサービスディーラーの判定と異なるならば、保証対象か否かを判定するために、別途調査をいたします。サービスディーラーに、すべての発生事実を確認するためにブリグス&ストラットン社の工場に送ることもできます。もしブリグス&ストラットン社が保証対象であると認めた場合には、お客様に相当する保証がされます。以下にエンジン保証対象とならないと誤解を避けるために故障の原因を列挙します。

### 正常な磨耗：

エンジンは、すべてのメカニカルな機器のように、周期的なサービスと部品交換を必要とします。保証は、正常な使用による部品またはエンジンの寿命が消耗した為の修理は対象としません。

### 不適切なメンテナンス：

エンジンの寿命は運転状況、メンテナンス次第で大きく影響します。埃の多い過酷な条件で稼動するアプリケーション〈ティラー、ポンプ、草刈機など〉では時期尚早の磨耗を起すことがあります。そのような磨耗は泥や塵、点火プラグの洗浄砂、または不適切なメンテナンスのためエンジンに入った他の研磨する素材により発生したトラブルは保証の対象とはなりません。

**この保証は品質及び製造組立上の欠陥のみに限定します。  
次の項目による故障、損傷は保証対象とはなりません。**

1. ブリグス&ストラットンのオリジナルではない部品により発生した問題。
2. 作業機のコントロールや搭載方式による始動不良や出力不足。(作業機メーカーに連絡してください。)
3. 汚れたり古いガソリンによって起きたキャブレタの漏れ、燃料パイプの詰り、バルブの固着。(使用するガソリンは新鮮できれいな無鉛ガソリンとブリグス&ストラットン純正ガソリン劣化防止剤 部品番号 5041 を混ぜてください)
4. エンジンが不十分もしくは汚染されたエンジンオイル、または間違ったグレードのオイルを使用しての運転によって発生した瑕や破損した部品(オイル点検は毎日もしくは運転 8 時間毎に確認してください。必要に応じて補給し、推奨する間隔でオイルを点検してください。)「オイルガード」によってエンジンを停止できないこともあります。オイルメンテナンス不良によりエンジンに損傷していることがあります。操作及びメンテナンス手順を読んでください。

5. 関連したパーツの修理、またはブリグス&ストラットン製ではないクラッチ、トランスミッション、リモートのコントロールなどの調整またはアセンブリ。
6. 純正部品ではないエアエレメントまたはエアカートリッジを使用したりメンテナンス不良により起こされた部分への損害または磨耗。(推奨された間隔で清掃してください。またオイルを含ませたブリククリーナーおよびカートリッジを交換します。) 操作及びメンテナンス手順を読んでください。
7. 草やゴミや泥などによりクーリングフィンやフライホイールが詰ったことによるオーバーヒート、十分な換気なしで囲まれた場所でのエンジン運転によってオーバースピードによる損傷。(推奨された間隔によるシリンダ、シリンダヘッド、およびフライホイールの清掃) 操作及びメンテナンス手順を読んでください。
8. 作業機へのエンジン取り付け不良、カッターブレードの弛み、ブレードやインペラのバランス不良、エンジンのクランクシャフトと作業機側との接合不適當、オーバースピード、または作業機側の過失による過度の振動によって生じた故障及び損傷。
9. 曲がったり、折れたクランクシャフト(ロータリモアのブレードで硬いものにぶつけることに起因する)または過度のVベルト張り過ぎ。
10. エンジンのチューンナップまたは調整。
11. エンジンまたはエンジン部品故障(すなわち燃焼室、バルブ、バルブシート、バルブガイドまたは焼損したスターターモータの巻き線)は、例えば代替燃料、石油、天然ガス、変質ガソリン、液化ガスを使用したことに起因したものの。

保証はブリグス&ストラットン社により承認されたサービスディーラーのみを通して行われます。日本国内における承認サービスディーラーは下記ホームページを参照してください。

[www.briggs.co.jp](http://www.briggs.co.jp)

